

**24 有田小学校**  
**あたたかく 理想を高く たくましく**

**小中一貫教育の実践（教育活動の方向性）**

中学校区の目指す子ども像	地域を愛し、自立と共生ができ、未来をつくる子ども (郷土愛、自立、共生、社会力の育成)
我が校の目指す子ども像	豊かな人間性・社会性の育成 様々な人とかわり相手を思いやる子・学び合い、考えを深める子・進んで運動する子、生活習慣を身に付けている子



小中一貫教育の具体的な取組	
我が校の取組	中学校区の取組
<p>◎直東学園のキャリア教育の方針に沿った一貫教育の推進に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主に高学年におけるキャリア教育の実践を積み重ねた。</li> <li>➡：中倉茂樹さんの講演</li> <li>：いじめ見逃しゼロスクール集会</li> <li>：「キャリア教育」を意識し、「総合的な学習の時間」での実践を展開</li> <li>：マスコミ学習</li> </ul>	<p>◎キャリア教育を中核とした一貫教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「郷土愛」の育成を重点取組としたキャリア教育の実践</li> <li>・中学校区共通評価項目による評価と経年変化の分析</li> <li>・キャリアパスポートの改善と活用</li> <li>○人権感覚を磨く共通取り組みの実践（中倉茂樹さんの講演、いじめ見逃しゼロスクール集会）</li> <li>○学校間授業研究交流会の実施、家庭学習の充実（スタディ&amp;アウトメディアウィーク）、新「学習の約束」の周知と徹底</li> </ul>
成果○と課題■	成果○と課題■
<ul style="list-style-type: none"> <li>○コロナ禍においても、直東学園の小中一貫した取組に参加したことや、異学年での交流に取り組んだことで、「豊かな人間性・社会性の育成」が着実に図られた。</li> <li>○「キャリア教育研修」を年度当初に実施して、その必要性やキャリア・パスポートについて共通理解を図ることができた。</li> <li>■当校の実態から、最優先事項をより意識して、知・徳・体の全領域での不断の取組としていく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○キャリア教育に係る教職員自己評価の取組が2年目となり、経年比較により、課題がより明確になった。</li> <li>○各校の実践を交換する中で、地域とともに活動を進める姿が見られた。</li> <li>○小中一貫した様々な上記共通取組の中で、児童生徒共に確実に成長した。</li> <li>■各校の独自性を生かしながら学校間連携を進め、9年間を見通した実践を、さらに進める必要がある。「郷土愛」の育成について、取組を工夫していく。</li> </ul>

**〈夢・志チャレンジスクール事業の取組（地域とともにある学校づくり実践）〉**

取組の概要	主な活動内容								
<p>総合的な学習の時間や生活科を軸として、栽培活動や飼育活動を取り入れた教育課程を開発し実践するため、飼育小屋・学校田・学校畑・学級園などの拡充や補修、借用等を行った。活動では地域との連携を図り、地域の先達としての願いや意見等も取り入れた。体験活動を通じ、子どもたちに育成したいと考えた資質・能力が身に付いてきている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>動物飼育活動</td> <td>ヒツジ2頭の飼育活動（1年）</td> </tr> <tr> <td>栽培活動</td> <td>野菜類の栽培活動（2年） 稲作体験活動（5年）</td> </tr> <tr> <td>地域探検活動</td> <td>地域の公共施設・文化財等の調査活動（3年） 自然環境の保護・愛護活動（4年）</td> </tr> </table>	動物飼育活動	ヒツジ2頭の飼育活動（1年）	栽培活動	野菜類の栽培活動（2年） 稲作体験活動（5年）	地域探検活動	地域の公共施設・文化財等の調査活動（3年） 自然環境の保護・愛護活動（4年）		
	動物飼育活動	ヒツジ2頭の飼育活動（1年）							
	栽培活動	野菜類の栽培活動（2年） 稲作体験活動（5年）							
地域探検活動	地域の公共施設・文化財等の調査活動（3年） 自然環境の保護・愛護活動（4年）								
<p>学校運営協議会の評価</p> <p>「主に育成したい資質・能力」の育成に寄与したかを評価するよう提案を受けた。</p> <p>【動物飼育活動】 ➡ 3. 0</p> <p>【栽培活動】 ➡ 4. 3</p> <p>【地域探検活動】 ➡ 3. 9</p> <p>結果は上述のとおりである。取組は子どもたちの育成に効果的であると認められ、今後も支援の継続・拡充を望むものである。</p>	<p>夢・志チャレンジスクール事業の取組は、目指す子ども像の実現に有効であった</p> <table border="1"> <tr> <td>○</td> <td>当てはまる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>どちらかという当てはまる</td> </tr> <tr> <td></td> <td>どちらかという当てはまらない</td> </tr> <tr> <td></td> <td>当てはまらない</td> </tr> </table>	○	当てはまる		どちらかという当てはまる		どちらかという当てはまらない		当てはまらない
○	当てはまる								
	どちらかという当てはまる								
	どちらかという当てはまらない								
	当てはまらない								

# スクールマネジメント実践報告書

## 学校運営協議会の活動内容

学校運営協議会の委員の構成									
教職員	1人	保護者	1人	住民	7人	その他	3人	合計	12人
学校運営協議会の回数 ※( )は、回数内における紙面協議回数	学校単独	1学期	1回( )	2学期	1回( )	3学期	1回( )	合計3回( )	
	中学校区合同 ※中学校区で同数にする	1学期	1回(1)	2学期	回( )	3学期	回( )	合計1回(1)	
活動の内容					成果○と課題■				
<p>主に、下記の内容で熟議が為された。</p> <p>【第2回】 7/5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・R3学校運営協議会の振り返り ・本年度の教育活動 ・学校評価計画</li> <li>・R4夢・志チャレンジスクール事業 ・意見交換</li> </ul> <p>【第3回】 10/7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前期学校評価について (iPadの使用方法、アンケートの分析方法、あいさつ、児童の実態、保護者の自由記述…等)</li> </ul> <p>【第4回】 2/3</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後期学校評価 ・夢・志チャレンジスクール、後援会からの支援 (スクールマネジメント報告書) ・次年度グランドデザイン ・次年度CS委員</li> </ul>					<p>○様々な学校課題について熟議することで、地域の考えや熱意を感じ取ることができた。</p> <p>○様々な活動について、学校の意図について説明を受け、共通理解を図ることができた。</p> <p>○体験活動の講師やボランティアとして、様々な学年の活動を助けた。</p> <p>■コロナ禍の影響で児童の実態を参観する機会が減っている。今後、Withコロナの動向を注視しながら、適切な対応策を考えていく。</p>				

総括
<p>有田小学校の教育活動について、地域の皆様に参画していただき、熟議することを通じて学校の意図と地域の願いを擦り合わせていくことの大切さを実感した。地域の子どものための育成について、学校に期待し、支えようとする地域の願いを感じることができて、心強い。教育活動の質的向上のために地域と協働することは当然である。さらに連携を深めて、発展させていかなくてはならない。</p>

### 〈活動写真〉



○野菜類を育てた2年生。最初は分からず、芽を全て間引たことも…。畑の先生らに聞きながら育て、生命への慈しみや責任感も育てました。



○環境について考えた4年生。関川河川敷コスモス畑でもお手伝いし、地域の自然環境を守ることが、潤いある生活につながる気がしました。



○最高学年としての範を示す6年生。「あいさつ」について学び、あいさつ活動にも真剣に取り組むことで、その本当の意味について考えました。